広域斎場整備事業に係る住民説明会【第１回】

１．開催日時

令和７年７月３１日（木）１９：００～

２．開催場所

石井町防災センター２階（河川防災ステーション三郎広場内）

３．参加者

住民参加者：４８名
行政参加者：【石井町】町長、副町長、参事２名、総務課長、福祉生活課長、建設課長、職員５名
【神山町】町長、副町長、住民課長、職員
【板野町】総務課長、住民課長、職員
関係事業者：奥村組グループ、(株)エフ設計コンサルタント、(株)東洋技研

４．意見等と町の考え方

意見等	工事の際、大型トラックや生コン等の工事車両はどこを通りますか。土手の上り口は見えにくく、普段から事故が多いです。事故が起こらないか心配です。また、工事期間に車が増えるのが心配です。
町の考え方	建設予定地への進入路についてですが、土手側、つまり建設予定地の東側から進入いたします。西側（マリン大王方面）からの進入は行わない予定です。また、大型車両の通行については、業者の方と事前に十分に協議を行い、生活道路を使用しない形で幹線道路を通行していただくようにいたします。

意見等	周辺対策についてどのように考えていますか。これから数十年間、３町の葬祭を受け入れます。何らかの目に見えた地元貢献をしてほしいです。斎場整備と地元対策整備は両輪と思います。
町の考え方	かつては地域の集会所を建設したり、公園を整備したりといった取り組みが行われてきました。しかし、時代の変化に伴い、既存の集会所についても利用者が減少しており、維持が困難であるというご意見や、取り壊しを希望するお話をいただくこと

	もあります。また、公園に関しては、一方で悲しみに包まれている中、それが適切かどうかという問題があります。さらに、草の管理の負担が大きいことや、地元でもほとんど使われていないといった課題もあります。 　一方で、高原・藍畑地区のインフラ整備については、現時点で十分に行き届いていない状況がございます。人口の多い地域では道路の拡幅や舗装が進んでいる一方、人口が少ない地区では舗装の質が悪く、幅員が狭い道路が数多く存在しています。さらに、一部では未だに排水設備が整備されていない場所も見受けられます。町としては、こうした課題をしっかりと把握し、地域の皆さまや自治会単位、さらに地元の議員の方々と連携しながら段階的にインフラ整備を推進してまいりたいと考えております。

意見等	周辺整備の費用については、神山町と板野町が負担していただけるのですか。その額と負担方法を教えてください。
町の考え方	周辺整備費として両町から負担いただく総額は、６億円を予定しております。建設予定地から東側に位置する町道の整備については、設計費用が確定いたしました。この件に関しましては、両町にご協力をお願いし、本年９月議会に予算案件を上程していただきます。そして議会で議決をいただいた後、両町から負担金をいただく流れとなります。 　また、地元対策につきましては、地域の皆さまのご要望や課題の解決を図るために、スピード感を持った対応を重視しております。一方で、工事案件ごとに議会での議決を求める形では、迅速な対応が難しくなる恐れがございます。このため、どのようにすれば地元対策のスピード感を維持できるかを両町と協議いたします。

意見等	駐車場が端にあり、家族やお年寄り等、歩くのが遠いと思います。玄関の前に停めることができればいいのですが。
町の考え方	斎場への移動につきましては、通常、霊柩車とマイクロバスをご利用いただく形になります。霊柩車とマイクロバスは玄関前に停車していただき、玄関前で降車していただくこととなります。その後、マイクロバスは乗客がいない状態で駐車場に移動し、駐車していただきます。車両の運転手は駐車場に車を停

	めた後、歩いて斎場にお越しいただくことになりますが、バスの乗り降りについては基本的に玄関前で行えるようにいたします。 　また、浸水対策として建物部分の土地の高さを前面道路より1 メートル上げて建設する予定です。ただし、敷地全体を盛り土等で上げることについては工事費用が増大するほか、近隣への影響が懸念されるため､駐車場と周辺道路の高さについては、ほぼ同じに設定する計画です。それに伴い、駐車場の配置が現在の位置になっております。 　駐車場の利用につきましては、妊婦の方や障がいをお持ちの方など、移動に配慮が必要な方々が玄関に近い場所に駐車できるよう工夫してまいりたいと考えています。具体的な運用方法については、今後さらに検討を進めてまいります。

意見等	三郎広場の西側から出入りをするとの事ですが、三郎広場のフェンスと植栽が邪魔になって、坂道を下から上がってきたときや、三郎広場から土手の道に出るときが危ないです。三郎広場の出入り口にカーブミラーがありますが、雨の日などは見えません。
町の考え方	国土交通省との協議が必要となります。具体的には、フェンスを後方に引く、フェンスの高さを低くする、あるいはガードレールに変更するといった選択肢を含め、適切な対応策を検討してまいります。この協議を通じて、事故が発生しにくい安全な環境を整備することを目指していきたいと考えております。

意見等	斎場が完成し供用が始まってからのことです。先程も事故の話がありました。霊柩車、マイクロバス、会葬に参加される方の経路を決めてもらえませんか。
町の考え方	近年では葬儀を式場で執り行うことが一般的になっています。本件に関しましては、葬儀事業者と十分に協議を行い、霊柩車など関係車両の移動ルートを適切に定めたいと考えております。特に、周辺の生活道路への影響を最小限に抑えることを重視し、通行を避けるルート設定について協議・調整を進めてまいります。

意見等	周辺整備の費用として６億円のお話がありました。これは基

	金として積んで利用するのですか。それとも、その都度議決をするのですか。
町の考え方	負担の方法につきましては、現在協議をしています。毎年一定の額を拠出いただき、その資金を基金として管理することで、地元の皆様からのご要望に迅速に対応できると考えております。現状では、必要な費用を計上した上で両町の議会に上程し、議決をいただく必要があり、その過程に３～６カ月程度の時間を要する状況です。そのため、負担の方法については、スピード感を持った対応ができるよう、今後さらに精査を行ってまいります。

意見等	斎場から出る残渣物はどうするのですか。灰に金などが残る場合があり、他の市町村では有価物として売却し、それを運営費に充てる自治体があります。また、供養する所もあります。あるいは、一般廃棄物として処理する所もあります。石井町はどのようにする予定ですか。
町の考え方	ご遺体に対しては最大限の敬意を払いつつ、適切な方法で処理を行いたいと考えております。具体的な対応につきましては、今後運営者を選定したうえで、一般的に採用されている適正な方法をもとに進めていく予定です。運営にあたっては、慎重に検討を重ね、遺族や関係者の方にご配慮した対応ができるよう努めてまいります。

広域斎場整備事業に係る住民説明会【第２回】

１．開催日時

令和７年８月１日（木）１９：００～

２．開催場所

石井町防災センター２階（河川防災ステーション三郎広場内）

３．参加者

住民参加者：２０名
行政参加者：【石井町】町長、副町長、参事２名、総務課長、福祉生活課長、建設課長、職員４名
【神山町】町長、副町長、住民課長、職員
【板野町】総務課長、住民課長、職員
関係事業者：奥村組グループ、(株)エフ設計コンサルタント、(株)東洋技研

４．意見等と町の考え方

意見等	（建設予定地前の）町道を拡張されるという事ですが、南側の土地も買い取る予定ですか。
町の考え方	敷地前の「く」の字に折れ曲がる箇所から東側については、北側に向けて拡幅を行う予定です。一方、「く」の字に折れ曲がる箇所から西側については、両側に拡幅を進める計画となっております。 ただし、南側には水路が通っているため、今後の用地交渉の結果次第では、南側の拡幅は水路までに限定し、北側のみ拡幅を行う可能性もございます。

意見等	建設予定地について、先程、賃貸と買い取りとお話がありました。賃料は年額いくらですか。
町の考え方	賃貸借契約に基づく賃料は、年額 200 万円となっております。契約を締結する際には、事前に鑑定を行い、その結果をもとに算出いたしました。

意見等	スライド資料を手持ちの資料として配って欲しかったです。後日でいいのでホームページに公開するか、参加者に送ってい

	ただけませんか。
町の考え方	情報の公開については、まず地元の皆様に直接ご説明することを優先したいと考えました。そのため、説明会が終了してから、ホームページへの掲載を進める予定としております。 ホームページへの情報掲載に合わせて、説明会にご参加いただいた方へは、当日の資料を郵送でお届けいたします。

意見等	環境影響調査の総合評価の説明がありました。どのような調査をしてこの総合評価を出したのですか。軽微とあるが、何が軽微なのですか。また、施設が稼働すると３町から友引以外は毎日稼働する事になると思います。稼働後も環境調査を行うのですか。
町の考え方	施設建設前の現在の状況について、環境に与える影響を確認するために、大気、騒音、振動、悪臭などを調査いたしました。その際、施設が建設された場合の影響も併せて評価を行いました。 調査の結果、この周辺における大気、騒音、振動、悪臭などの状態は、既存の状況と比較してほとんど変化しないと判断されました。そのため、現況を悪化させるものではなく、「影響は軽微である」と結論付けております。 なお、施設稼働後も継続的に環境調査を実施し、地域環境への配慮に努めてまいる予定です。引き続き地域の皆様に安心していただけるよう、環境監視を徹底してまいります。

意見等	今後の会についてです。自治会員の全員を集めるのは大変なので、各自治会から何人かずつ寄って話をする等、今後、要望についてどのように話し合いを進めるのですか。
町の考え方	周辺対策事業につきましては、昨日もご質問をいただきました。以前は、集会所の建設や公園の整備が多かったです。しかし、昨今では集会所の利用頻度が著しく減少しており、各自治会から「既存の集会所の引き取りや取り壊しをお願いしたい」といったご要望をいただくこともございます。また、公園の整備についても、悲しみに包まれている中でそぐわないと考えています。 現在、地元対策として特に重要と考えているのは、藍畑・高原地区におけるインフラの整備です。この地域は石井町の中でも人口が少なく、十分なインフラ整備が行き届いていない状況

	がございます。たとえば、幅の狭い道路が多かったり、舗装が50年間も更新されていない箇所も見受けられます。こうした切実な課題に対応することが最善の施策であると考えております。 　また、先ほどもお話しいただきましたが、各自治会でご意見をまとめていただけることは非常にありがたいことです。自治会の皆様や地元の議員の方々と協力しながら、お寄せいただいたご意見をもとに適切な対策を進めさせていただきます。

意見等	最近、直葬が増えています。斎場内に「僧侶控えの間」みたいな着替え等ができる場所を設けてほしいです。
町の考え方	設置する予定をしております。

意見等	斎場で骨壺を販売するのですか。石井町の方は、斎場で買う方が多いです。
町の考え方	運営を受託する事業者については、まだ決定しておりません。今後、運営事業者が決まり次第、協議を進めたいと考えています。

意見等	町の方から要望があれば役場の方に相談してくださいと説明をいただきましたが、要望など相談したいときに役場ではなく、今日も議員さんが出席をされておりますが、地元の議員さん方に相談しても構わないでしょうか。
町の考え方	問題ございません。

意見等	西側に養鶏場があります。私は施設見学会に参加をさせていただき、火葬場は臭いがしないことは理解しています。逆に養鶏場からの臭いが施設内に入ってきませんか。また、見えないように木を植えるなどの対策はどうするのですか。
町の考え方	養鶏場の臭いにつきましては、私どもも重要な課題と考えております。斎場の建設に関わらず、この問題については何らかの対応策を講じたいと考えております。例えば、鶏糞の臭いを抑えるためのシートや薬品といった方法があるようです。この対応は養鶏場を運営されている方にしていただく必要がありますが、私どもからも改善案を提案させていただき、合わせて協議してまいりたいと考えております。

	さらに、視覚的な遮へいを行うため、例えば中木の設置など検討いたします。

意見等	待合室は１階が多いですが、この施設は２階にあります。お年寄りや車椅子の方など、２階に上がるのに困りませんか。
町の考え方	エレベーターを設置する予定です。